



西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成26年(2014年)11月1日発行 第65号

発行
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311
編集
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

この秋 絵になる西東京市の風景と文化財を訪ねよう！ ～東京文化財ウィーク2014のご案内～



©T&K/西東京市

縄文のしたのやムラ(切り絵作家 小出 菟 作)



現在の下野谷遺跡公園

郷土資料室では、これまで文化財ウィークの企画事業として、西東京市の歴史・文化・自然をテーマに写真展を開催してきました。「写真で見える西東京市の今昔」では、昭和から平成へと変わりゆくまちの姿を、また、「西東京市の石仏・石塔」では、素朴で個性豊かな路傍の石仏・石塔を紹介しました。今年も、市内を四つのエリアに分けて、それぞれの地域の歴史とまちの風景を切り絵と写真で紹介いたします。

今回の切り絵作品の展示では、四季折々の風景や微笑ましい日常風景、そして私たちがそと見守っている歴史ある神社・仏閣・石仏などの文化財をも題材にして西東京市の魅力を伝えていく、市内在住の切り絵作家・小出菟さんに特別にボランティアで協力いただきました。紙とカッターで作らだす切り絵。展示作品は、どれも力強く、そしてユーモアあふれる小出さんの感情がストレートに表現されていて、とても魅力的です。紙を切つてここまで表現されている作品を見てみると、皆さんもきっと感動されることでしょう。展示内容を少しだけ紹介します。東伏見を含むエリアでは、縄文時代の遺跡・下野谷遺跡を歴史テーマとして紹介します。切り絵作品では、約4千年ほど前の縄文のムラ・下野谷に暮らすムラびとたちが動きのある構図の中に生き生きと甦っています。まるで、風の音・栗を砕いた匂い・喜びにあふれたムラびとたちの声が聞こえてくるようです。

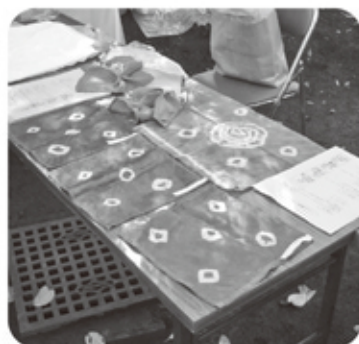
そして、この下野谷ムラの雰囲気を感じて、この下野谷ムラを守る会・写真班「水口トミオさん・中山森雄さん・寺口渉さん」が撮影した写真で紹介いたします。きつと、小出さんの切り絵作品の雰囲気も写真でも伝わることで、企画展をご覧頂き、ぜひ、これらの舞台になった場所を訪ねてみてください。きつと、素敵な時間を過ごすことができます。

切り絵に描かれた西東京市の風景が素敵です

武蔵野の面影を残す西東京市は、四季それぞれに表情を変える豊かな自然と数多くの文化財が残された歴史あるまちです。また、西東京市は小説や絵画の作品の舞台にもなっています。今年も、文化財を身近に感じていただくために「東京文化財ウィーク」が開催されます。この秋、人々の心に残る西東京市の歴史と文化と自然を訪ねてみませんか。企画事業に参加して、西東京市の魅力を再発見しましょう。

◆社会教育課 042(438)4079

保谷のアイを知っていますか？



ジャパンブルーとも呼ばれる藍色。藍で染められた服は、その美しい色合いだけでなく、虫よけなどの実用性も兼ね備えていました。

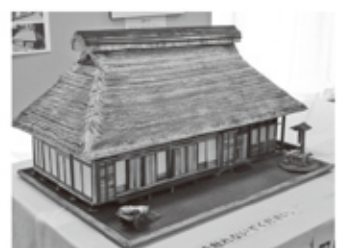
かつて、保谷でも藍染めに使う藍の葉を育て、染めのもととなる「藍玉」を作っていたことをご存知ですか。「藍玉」はある程度保管ができ、相場を見ながら商いができるため、これだけで財を成した家もありました。保谷に「民族学博物館」を建設することに尽力した高橋文太郎の家もその一つであり、その活動の中心にいた渋沢敬三の祖父、渋沢栄一の家もそうでした。

そうした藍の魅力を屋敷林のある下保谷の民家を会場にして、藍染体験コーナーやお茶席も用意してお伝えします。また、「民族学博物館」に関する展示も行います。屋敷林の秋の木漏れ日の中、「保谷のアイ」に触れてみませんか。

東京文化財ウィーク2014

「東京文化財ウィーク」は、文化財を身近に知っていただくために、主に10月、11月に都内全域で行われる文化財の公開など様々な文化財を活用した事業です。事業内容は市役所や公民館などに設置しているガイドブックで確認することができます。

ここでは11月に西東京市で実施する企画展をご紹介します。



企画展

「切り絵と写真で見える西東京市く歴史とまちの風景」

▽日時 10月25日(土)～11月28日(金) ※毎週月・火曜休室
午前10時～午後5時
(入室は午後4時30分まで・最終日は正午まで)

▽場所 西東京市郷土資料室(西原総合教育施設2階)
042(467)1183

▽交通 田無駅北口・ひばりヶ丘駅南口から西武バス(田44・07系)で「西原グリーンハイツ」下車徒歩3分

▽観覧料 無料

秋の屋敷林企画

「保谷のアイ」武州藍がつなぐ保谷の歴史と文化」

▽日時 11月3日(月・祝)

午前9時30分～午後2時30分(雨天中止)

▽会場 下保谷の民家(西東京市下保谷四丁目7番4号所在)
※車での来場は遠慮ください。

▽交通 西武池袋線「保谷駅」(北口)下車徒歩5分
下保谷福祉会館となり・あらしき公園北向い

▽共催 下保谷の自然と文化を記録する会・西東京市教育委員会

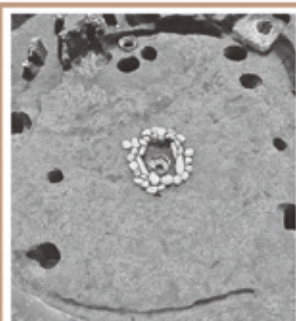
▽参加料 無料

▽ミニ講演会 午前11時～11時30分(会場内特設ブースにて)

下野谷遺跡の国史跡指定にむけて

今から4～5千年前の縄文時代の拠点集落跡である下野谷遺跡公園周辺は、保存率が都内でも稀な高さであることから、市民の貴重な文化遺産を保存・活用するために、国史跡の指定について本年7月に東京都を通じて文部科学大臣に意見具申をいたしました。

◆社会教育課 042(438)4079



住居跡検出状況



土器出土状況